整理番号

D－2－3　　362

標 題 名

駆除剤及殺菌剤

（ボルドーなど５種）

著 者 名

発行者名

広島県農事試験場

発 行 年

明治３５年（1902年）

製作年月

令和３年６月

明治三十五年三月

驅除劑及殺菌劑

廣島縣農事試驗場

主ナル驅虫劑及殺菌劑ノ製法

從來使用セル害虫ノ驅除劑及病害ノ殺菌劑ハ數多アレ𪜈就中効顯著シクシテ製法モ亦容易ナルモノヲ撰ミ參照ニ資セシ

一石油乳劑

製法

洗濯石鹸十二匁乃至十六匁ヲ細ク截リテ温湯三合中ニ溶解セシメ殘滓ナキニ至リ少シク温メタル后石油五合ヲ加ヘ竹ノさゝらニテ強ク攪拌シツヽ冷却セシメ糊狀ト變セシムベシ

注意　石鹸ヲ溶解シタル液ハ必ラズ少シク温メタル后石油ヲ加ヘ直ニ劇シク攪拌スベシ然ラザレバ石鹸ト石油ハ混合セザルモノナリ

用法

右ノ如クシテ製シタル液ハ普通原液ト稱シ之レヲ害虫ノ種類ニ應シテ水ヲ加ヘ

稀薄シタル液ヲ如露又ハ喞筒ニテ灌注スベシ

功能	用液ノ濃度
驅除シ得ヘキ虫類	
各種ノ蚜虫類	三十五倍乃至五十倍液
藍ノウラムシノ幼虫、大根ノ金龜子ノ幼虫（フタセ、サル、イザリ、イノシン）	三十倍乃至四十倍液
螟蛉、蛞蝓、黒蝨等ノ幼令ノモノ	三十倍乃至四十倍液
用水欠乏ノ場合ニ浮塵子ノ發生シタル時	三十五倍乃至五十倍液
椿象類、ムクゲ虫ノ幼虫	三十倍乃至四十倍液
介殻虫、綿虫	五倍液

二煙草液又ハ苦木液ト石鹸ノ合劑

製法及用法

石油乳劑ト粗ホ同一ナレ𪜈石油ノ代用トシテ煙草莖又ハ苦木皮六十匁（苦木ノ生葉ヲ用フル場合ニハ百匁トス）ヲ熱湯五升ニテ一夜浸出シタル液ヲ用ユ

功能

驅除シ得ヘキ害虫類　用液ノ濃度

大根ノ金龜子幼虫（フタセ、サル、（サルハムシ）イザリ、イノシ、）　二十倍乃至二十五倍液

蘭ノ青虫　十五倍乃至二十倍液

尚ホ蕃椒二十匁許ヲ加ヘテ浸出シタル液ハ効顯更ニ大ナリ

三石鹼液

製法

洗濯石鹼拾匁ヲ熱湯一升ニ溶解セシム

用法

製造后凡ソ六時間ヲ經テ稍粘氣ヲ生シタル時ニ適宜分量ノ水ヲ加ヘ如露又ハ噴

筒ニテ注射ス

注意　石鹸液ハ冷却シテ稍粘氣ヲ生ジタル后ニアラザレバ決シテ水ヲ混ズベカラス

功能

驅除シ得ベキ害虫類　用液ノ濃度

各種ノ蚜虫類　五倍乃至十倍液

此液一升ニ付キ除虫菊粉末五匁ヲ加フレバ一層効顯著シ

四二硫化炭素

用法

密閉シタル室内ニ二硫化炭素百二十匁ヲ小皿數個ニ分チ入レ置キ自然ニ蒸發セシメ二十四時間乃至三十六時間ヲ經過セル后開放スベシ

但シ右ノ分量ハ一千立方尺ノ場所ニテ用ヒラル

注意　此物ハ甚ダ燃ヘ易キモノナルニヨリ必ス火氣ヲ遠サケ置クベシ

功能

驅除シ得ベキ害虫類

倉庫内ニ發生セル害虫類

蟻又ハ根ヲ害スル虫類ニハ此液ヲ適宜地中ニ注入スベシ

五ボルドー液

ボルドー液ハ硫酸銅及生石灰ヲ水ニ溶解シタルモノニシテ二斗式ボルドー液ヲ製スルニハ先ツ二斗入位ノ桶ヲ用意シ置キ別ニ桶（決シテ金属器ヲ用ユ可カラズ）ニ水一斗ヲ入レ工業用硫酸銅（丹礬）百二十匁ヲ小笊ニ盛リ桶水ノ中ニ吊シ置ク時ハ大抵五六時間ニテ悉ク溶解ス（若シ水ニ代ユルニ温湯ヲ以テスル時ハ短時間ニテ溶解スルヲ得）而シテ又別ニ桶ニ極上等ノ生石灰百匁ヲ入レ少量ノ水ヲ徐々ニ注加スレバ生石灰ハ熱ヲ生ジテ碎ケ乳汁ノ如クニナル可シ尚ホ之レ

ニ水一斗ヲ加ヘ能ク攪拌シテ布袋又ハ篩ニテ濾シツヽ用意セル二斗入ノ桶ニ移シ冷却シタル后更ニ前ノ硫酸銅液ト混シ能ク攪拌スルトキハ恰モ薄キ葛湯ノ如キ粘氣アル青色液トナルベシ

以上ノ如クシテ製シタル液ノ良否ヲ知ラント欲スルコハ其液中ニ研キ立テノ小刀ヲ挿入スベシ若シ小刀ニ銅色ノ渡金ヲ生スルガ如キコアルトキハ不良ノ液ナルニヨリ如斯液ヲ使用スレバ植物ヲ損傷スルヲ以テ更ニ前同樣ノ生石灰溶液ヲ混加シ渡金セザルニ至ラシム可シ

用法

此液ヲ噴筒又ハ如露ニテ灌注スベシ而シテ此際ハ可成液ヲシテ滿面ニ附着スル樣注意セザルベカラス蓋シ本液ハ硫酸銅ノ毒分ヲ石灰ニテ付着セシメ菌類ヲ殺スモノナルニヨリ若シ附着十分ナラザレバ其効少ナケレバナリ

而シテ本液ハ製造后五六時間ヲ經レハ沈澱ヲ生シ其効能ヲ減スルモノナレバ使

D
2-3
362

用ノ都度分量ヲ計リテ製造スルヲ要ス大抵十日乃至二週間ヲ經レバ其効力ヲ消滅スルモノナルニヨリ數回施用スルニアラザレバ奏効顯著ナラズ殊ニ降雨ノ際ニハ流去セラルヽ恐アレバ直ニ再ヒ施スベシ

功能

効顯アル病害

胡瓜ノベと病其他果樹ノ病害

果樹類ノ病害ヲ豫防スル目的ニ施用スル場合仮令梨樹ニ就キ云ヘバ萌芽ノ時開花ノ時、其后二週間位ヲ隔テ二三回續ケ用ユレバ大抵其目的ヲ達シ得ベシ且ツ之ニ「バースグリン」（砒酸銅）ヲ加用スレバ害虫モ併セテ防グヿヲ得

明治三十五年三月三十日印刷
明治三十五年三月卅一日發行
廣島縣農事試驗場

印刷者　廣島市紙屋町十五番邸　本明德兵衛
印刷所　廣島市紙屋町十五番邸　本明活版所